2026 年 11 月 11 日

各　位

会社名　　日本ナレッジ株式会社
代表者　　代表取締役社長　藤井 洋一

閉域環境で国際規格に基づく品質ワークフローを実現する

生成 AI ソフトウェア開発支援環境『digitest Local LLM Ver.1.0』の提供開始

－ISO 規格策定エキスパートの知見と特許技術を「規格ハーネス」に実装。

仕様書・コード・テストの生成とレビュー時の品質チェックを、社内に閉じた環境で－



日本ナレッジ株式会社（本社：東京都台東区寿、代表取締役社長：藤井 洋一、以下日本ナレッジ）は、閉域環境（社内ネットワーク内で処理が完結し、外部へデータを送信しない環境）で動作する生成 AI ソフトウェア開発支援環境『digitest Local LLM Ver.1.0』の提供を開始することをお知らせいたします。

本製品は、ソフトウェア品質の国際規格（ISO/IEC 25000 ファミリー）の規格策定を行っている ISO/IEC/JTC1/SC7/WG6 所属エキスパートであり、工学（博士）である当社エグゼクティブコンサルタントの加藤大受が中心となり、様々な国際規格を活用して品質に優れた開発を担保するためのノウハウと同氏が持つ特許技術を「規格ハーネス」として生成 AI に組み込んだものです。仕様書の審査に

加え、ソフトウェアコード、テスト仕様書、テストコードの生成ができるだけでなく、レビュー時の品質チェックをエージェントとして提供し、品質に優れたソフトウェア開発を閉域環境で支援します。

また、本製品の第一号ユーザー（1st customer）として、生成 AI でのテスト自動化の事例ユーザーであるピー・シー・エー株式会社様への提供を開始いたします。

■背景

当社は、AI を活用した仕様書やテスト内容の分析、自動テストコードの生成により、自動テストの作成・修正に要する工数の削減と作業の迅速化を目指し、独自のテスト自動化ツール「digitest」の開発を進めてまいりました。

2025 年 11 月には同ツールの β 版の提供を開始し、一部のお客様への個別導入を通じて、実際の利用環境における検証や機能改善を重ねながら、実用化に向けた開発を進めてまいりました。

生成 AI を活用したソフトウェア開発支援の導入が急速に進む一方で、企業の開発現場では 4 つの制約が顕在化しています。第一に、仕様書やソースコードといった機密性の高い情報を外部の AI サービスへ送信できないというセキュリティ上の制約。第二に、利用量に応じた従量課金が開発規模の拡大とともに増大するというコスト上の制約。第三に、自社のコーディング規約や品質基準を反映できず、生成物をそのまま使えないというカスタマイズ上の制約。そして第四に、モデルの更新頻度が高く、検証済みの開発環境を安定して維持しにくいという運用上の制約です。

さらに、より本質的な課題があります。生成 AI によって動作するコードやテストを速く作れるようになった一方で、その成果物が何を基準として「品質が良い」と言えるのかを示す手立ては、十分に整っていません。品質を判断する基準そのものが開発現場に不足しているため、生成物のレビューには依然として大きな工数がかかり、第三者や監査に対して品質を説明することも容易ではありません。

当社は、この「品質の判断基準をどこから持ってくるか」という点こそが、生成 AI を開発現場で本格的に活用するうえでの要であると考え、国際規格の策定に携わる当社の知見と特許技術を製品に実装することといたしました。

■『digitest Local LLM Ver.1.0』について

本製品は、①Coding Agent（開発環境）、②規格ハーネスとテスト実行エンジン（品質判定層）、③ローカル LLM とハードウェア（AI 基盤）の 3 つの層で構成され、仕様書の審査から成果物の品質チェックまでの処理を、社内ネットワーク内で完結して実行します。

（1）国際規格に基づく品質の判断基準を組み込んだ「規格ハーネス」

規格文書は購入することができますが、どの規格のどの観点を、開発のどの場面で、どのように適用するかという実務上の判断は、文書には書かれていません。本製品では、この判断を、コマンド（特定タスクのショートカット）、スキル（再利用可能な専門能力）、ルール（AI の行動規範・制約）の 3

層からなる「規格ハーネス」として実装しました。あわせて、当社加藤が考案した品質管理マップを活用した品質分析手法（特許第 7062243 号）の考え方を組み込んでいます。

これにより、生成された設計書・ソフトウェアコード・テスト項目に対して、どの規格のどの観点に照らして判定したのかという根拠を示しながら、品質チェックを行うことが可能になります。

（2）要求事項からテストコードまでの生成と、レビュー時の品質チェック

上流工程では、要求事項からの仕様書の生成、仕様書の抜けや矛盾の審査、仕様書に沿ったソフトウェアコードの自動生成、仕様書とコードの差分監査（重要度 P0〜P3 で報告）、社内ルールに合わせた単体テストの生成を支援します。下流工程では、E2E テスト項目の自動生成、生成したテスト項目の品質基準検査、自動実行結果の検証を支援します。

レビュー時の品質チェックは、人の判断を置き換えるものではありません。エージェントが品質ゲートに基づく一次検査を行い、判定結果とあわせてその根拠を提示します。重要な手順では必ず処理を止め、人が選択する設計（Human in the loop）としています。

（3）Extension による、Windows アプリを含むテスト自動化範囲の拡張

テスト実行エンジンは、今後提供する様々な Extension により順次拡張してまいります。Web アプリ向けのテスト実行エンジンに加え、Windows アプリ向けのテスト実行エンジン『digitest Windows Extension(仮称)』を提供し、Win32／WPF／WinForms／UWP／Store を対象としたテスト自動化の設計および実装を支援します。テストケースは Excel または YAML で記述できるため、Excel が扱えれば、開発に精通していないメンバーもテストシナリオの作成に参加できます。これにより、これまで自動化が難しいとされてきた Windows デスクトップの業務システムについても、テスト資産を長期に蓄積・再利用できる形で、テスト自動化を効率よく進めていただけます。

（4）ハードウェア込みのレンタルと導入支援サービスのセット提供

ベースとなる大規模言語モデルには、オープンソースの「Qwen3.8-27B」（Apache License 2.0）を採用し、推論フレームワークと合わせて当社で検証した構成で提供します。今後、他の大規模言語モデルへの対応についても検討してまいります。

提供形態は、本製品をハードウェアに同梱したレンタルサービスと、当社コンサルテーションサービス部門による導入支援・活用支援サービスのセットです。お客様側でのハードウェアの調達や環境構築を必要としないため、AI 利活用における品質指標の策定を踏まえたプロセス構築を進めながら、開発現場への適用をすぐに開始いただけます。支援は伴走型で行い、お客様の利用形態を踏まえてご提案いたします。

■第一号ユーザー（1st customer）について

本製品の第一号ユーザーは、ピー・シー・エー株式会社様です。

同社は、当社がご提供するテスト自動化フレームワーク（現『digitest Limited Edition』）を導入され、クラウドサービス「PCA Hub」のテスト自動化に取り組まれている、生成 AI でのテスト自動化の事例ユーザーです。本製品の導入により、これまで蓄積されたテスト資産を活かしながら、仕様書からテストの設計・実装・レビューに至る開発プロセス全体へ、閉域環境での生成 AI 活用を広げていけるようご支援してまいります。

＜導入事例＞AI 活用によるテスト自動化事例　ピー・シー・エー株式会社様　https://www.know-net.co.jp/casestudy_pca

［**ピー・シー・エー株式会社 開発本部副本部長 齊藤 彰吾様からのコメント**］

「これまで日本ナレッジが当社向けに提供したテスト自動化フレームワーク(『digitest Limited Edition』の御社向けカスタマイズ版)を活用し、テスト自動化による業務負荷の軽減と品質向上を進めてまいりました。今回の『digitest Local LLM Ver.1.0』の導入により、閉域環境を維持したまま、テストの設計・実装からレビューまでを生成 AI で支援できるようになることを期待しています。」

■当社コンサルテーションサービスについて

当社コンサルテーションサービス部門は、ソフトウェア品質の国際規格（ISO/IEC 25000 シリーズ）の規格策定を行っている ISO/IEC/JTC1/SC7/WG6 所属エキスパートであり、工学（博士）であるエグゼクティブコンサルタントの加藤大受を筆頭に、お客様の品質課題およびセキュリティ課題などの解決をサポートする様々な支援サービスを提供する部門となっています。また、今後大きく浸透する AI 利活用のリスク統制の管理システムである ISO42001(AIMS)認証やこれまでの品質管理の礎となる ISO 9001（QMS）認証、情報セキュリティの強化を促進する ISO 27001(ISMS)認証の審査員資格を持つメンバーを擁し、生産性と安全性に優れた攻めの経営を実現する支援を実施しております。

他にも同サービス部門では、ソフトウェア製品/SaaS ベンダー向けに、開発プロセスの品質改善や品質向上サービス、QMS 構築/改善支援、米国政府機関のセキュリティ基準である NIST SP800-171 準拠サービスなども提供しております。

＜当社コンサルテーションサービス＞　https://www.know-net.co.jp/consultationserviceinfo/

■今後の展望

当社では、『digitest Local LLM Ver.1.0』の Extension を順次拡充し、対応するアプリケーションの種類と支援する開発工程の範囲を広げてまいります。また、ベースとなる大規模言語モデルについても、お客様の環境や用途に応じて選択いただけるよう、他モデルへの対応を検討してまいります。

あわせて、2025 年 11 月に提供を開始した QMS と統合したソフトウェアテスト自動化プロセスのアセスメントサービスと組み合わせることで、AI 利活用における品質指標の策定から、プロセスの構築・改善、開発現場への定着までをご支援してまいります。

今後とも当社では、AI 活用を推進するサービスを提供していくだけでなく、コンサルテーションサービス部門での様々な支援サービスと当社の持つ開発および検証サービスを合わせ、トータルソリューションのシナジーを活かしたサービスを提供します。

【日本ナレッジ株式会社について】

日本ナレッジ株式会社は、「人と技術を育み、安心できるデジタル社会の未来を支える」というミッションのもと、ソフトウェア検証・品質保証やテスト自動化を中心に、AI・セキュリティ開発、教育・研修サービスを展開しています。

お客様の“長期的パートナー”として、品質と信頼を基盤に安心と成功を届けるとともに、人的資本経営を軸にエンジニア育成や多様な働き方を推進し、持続可能な成長と社会への貢献を目指しています。

＜会社概要＞

会社名：日本ナレッジ株式会社

本社　：東京都台東区寿 3-19-5 ＪＳビル 9 階

代表者：代表取締役社長　藤井 洋一

URL　：https://www.know-net.co.jp/

＜参考資料＞

1. 主な機能

区分	機能	内容
上流工程支援	仕様書生成	要求事項をもとに仕様書を生成する
	仕様書審査	コード生成の前に仕様書の抜けと矛盾を確認
	コード自動生成	仕様書に沿って生成し、都度コンパイル確認
	差分監査	仕様書とコードの差分を P0〜P3 で報告
	単体テスト生成	社内ルールに合わせた単体テストを作成
下流工程支援	E2E テスト項目生成	仕様書審査→項目生成→品質検査→改善提示
	テスト項目の品質検査	網羅率・トレーサビリティ等で合否を判定
	実行結果の検証	仕様書に起因する失敗項目を特定
レビュー支援	品質ゲート検査	国際規格に基づく品質ゲートで成果物を検査
	判断根拠の提示	どの規格のどの観点で判定したかを示す
テスト実行	Web アプリ向けエンジン	自然言語で記述したテストケースの実行＋視覚エンジン
	Windows アプリ向け（digitest Win）	Win32／WPF／WinForms／UWP／Store に対応
	記述・レポート	Excel／YAML 記述。Allure レポートを出力
運用	Human in the loop	重要な手順で処理を止め、人が選択する
	ルールの切り替え	業界標準の規約を同梱、独自規約にも変更可

※ テスト実行エンジンは、今後提供する Extension により対象範囲と支援工程を順次拡張します。

2. システム構成



※ 本製品はすべての処理を社内ネットワーク内で完結して実行します。外部の AI サービスへ仕様書やソフトウェアコードを送信することはありません。

3. 提供形態と参考価格

提供形態	内容	参考価格（税別）
ハードウェア込み レンタルサービス	検証済みの構成で『digitest Local LLM Ver.1.0』をハードウェアに同梱して提供	月額 500,000 円
導入支援・活用支援 コンサルティング	AI 利活用における品質指標の策定、プロセスの構築、開発現場への適用までの伴走型支援（3 か月程度）	9,000,000 円から

※ 価格はお客様の利用形態、対象システムの規模および支援範囲により変動いたします。個別にご提案いたします。

4. 動作環境

項目	内容
ベースとなる大規模言語モデル	Qwen3.8-27B（Apache License 2.0）　※他の大規模言語モデルへの対応は検討中
推論フレームワーク	LM Studio
Coding Agent	Visual Studio Code ＋ Cline（推奨）
実行環境	Node.js

項目	内容
ハードウェア	NVIDIA GB10 Grace Blackwell Superchip 搭載機（当社よりレンタルにて提供）
ネットワーク	社内ネットワーク内で完結。外部へのデータ送信は行わない

【本件に関するお問い合わせ】

企業名　　：日本ナレッジ株式会社

問い合わせ先：営業本部

メール　　：support@know-net.co.jp

TEL　　：03-3845-4781（平日：9:00-17:30）

お問い合わせ：https://www.know-net.co.jp/contacts